

次は貴方の番です！！

PADI IDC (インストラクター開発コース)のご案内



GELSIUS CLUB TEL:098-926-0282

お待ちしております。今まで、プロフェッショナルとして活動するための知識・スキル開発・アシスト能力を磨かれた事と思います。その後の活動を通して、技術的にも精神的にも、そろそろ次のステップ、ダイバーの『認定できる』に進む準備を整えましょう。

IDCでは、実際に講習を行うために必要な「プレゼンテーションスキルの開発」「コース開催の実践的なトレーニング」をはじめ、「ダイビング業界についての知識」についても学びます。これらのことは、IE合格を目指すだけでなく、ダイビングを仕事とするときに役立つ情報、ダイビングをもっと楽しく続け、それを伝えていけるように、より実践的な形で行っていきます。

コース内容は大変濃く充実したものです、課題をひとつずつクリアしていくことを心掛ければ、PADIインストラクターとしての準備が整うはずです。安心してついてきてください！！

さあ！ 私たちと一緒に、“PADIインストラクター”として
ダイビングの世界への橋渡しをしませんか？ そして

...

新しいダイバーが誕生する喜びを分かち合いましょう！

IDC の 2 部構成

1. AI (アシスタント・インストラクター) コース : 4 日間

じっくりと時間をかけてステップアップしたい人、自分がインストラクターとして活動していけるのを見極めたい人などは、こちらのコース終了後 一時STOP!

AI資格を得ると、OWDコース(一部)の評価やPPB・DSプログラム(体験ダイビング)などを開催することができ、インストラクターを意識した実践的な活動を行うことができます。AIとしてさらに経験を積んで、ゆっくり次のステップに進みましょう！

2. OWSI (オープン・ウォーター・スタッフ・インストラクター) プログラム : 3 日間

PADIインストラクターとなるための後半のコース。

ここでは、OWDコースを意識したC/W・O/W実習、OWD～DMコースを開催するための知識開発、クラスルームが行われます。IDCを修了するとIEの受験資格が得られます。今度は、貴方がより多くの人にダイビングの楽しさを伝えてください。

PADIインストラクターとして活動することを決めている方は“AI&OWSI”を7日間で受けることも可能です。

IE の内容

IE参加料 : 73,500円 (税込) PADIに直接お振込み頂

きます。

★IEは4つのセクションで構成されており、オリエンテーションを含めて2日間で行われます。

1. 筆記試験 (5科目クイズ&規準エグザム)
2. 知識開発プレゼンテーション
3. 限定水域 (C/W プレゼンテーションと5種のスクーバスキル)
4. オープン・ウォーター (O/W プレゼンテーションとレスキュー評価)

では、IDCについて詳しく説明させていただきます。

- ★ **開催期間：** 8日間 〈A I：4日間／OWS I：3日間／E F R I：1日間〉
※オリジナル準備要項を参考にして頂き、ご準備して頂くことが参加前条件です！
- ★ **開催場所：** セリシャスクラブ および 沖縄本島周辺の海域
- ★ **締め切り：** 開催日から換算して7日前
- ★ **参加前条件：**
 - ① PADI ダイブマスターかアシスタントインストラクター
あるいは他団体のリーダーシップ・レベルとして認定されていること
 - ② トレーニング開始以前に**18歳以上**であること
 - ③ ダイビングに適した健康体で、過去12ヶ月以内に実施された健康診断で、
医師の署名入りの「**病歴／診断書**」により参加を許可されていること。
※「病歴／診断書」の書式が必要な方はお申し出ください。
 - ④ 認定ダイバー（OWD）認定されてから6ヶ月以上の経験があること
 - ⑤ **ナイト、ディープ、ナビゲーションを含む60本以上のダイブ経験**が
ログに記録されていること。IE受講には100本のダイブ経験記録が必要です。
 - ⑥ 過去2年以内に**PADI EFR コース**を修了していること
※未成年の方は保護者の署名が必要です。

- ★ **申し込み方法：** お申込書を頂きましてからコース料金をお預かりさせて頂き、確認後にお申し込みとさせて頂きます。また、不足教材の手配もさせて頂きますのでお気軽にご相談ください。
(振り込み手数料&教材送料はご負担下さいます様お願い申し上げます。)

振込先

琉球銀行 県庁出張所 普通 48211 セリシャスクラブ アキヤマ タカシ

- ★ 準備するもの：
 - ダイビング器材
 - フィン・マスク・スノーケル ナイフ・ホイッスル シグナルフロート
 - レギュ・バックアップ空気源 パワーインフレーター付BCD
 - コンパス・残圧計・深度計 時計（ダイブコンピュータ可）ブーツ
 - スーツ（気候に合わせて選択）
 - 教材一式&電卓 すべてのCカードログブック(60本以上)
(IE受講には100本のダイブ経験記録が必要です)
 - 3×4cm 顔写真2枚 医師の病歴／診断書 原本1通

IDCの内容のご説明です。

IDCはAI&OWSIの2部構成で行われ、それぞれ
＜カリキュラム／知識開発プレゼン／水域スキルとプレゼン／エグザム＞から成り立っています

I

カリキュラム：準備要項に沿って自習をお願いします

16のカリキュラムの聴講

IDC&AI&OWSIは、ダイビングを続けていく上で、またインストラクションをする上で必要不可欠な情報ばかりです。それを、把握して頂くためには、IDC開催前の前準備が鍵を握ります。前準備がしっかりしていれば、プレゼンターの話も理解していただけるはずですが、また、より現場に近く、実際の講習に即した内容ですので、すぐに講習が出来るようになりますとともに、安全管理にも力を入れます。

- 1 コースオリエンテーション【IDC or AI】
- 2 学習とインストラクション、PADIシステム
- 3 ビジネスオペダイビング
- 4 知識開発プレゼンテーション
- 5 限定水域での講習
- 6 オープンウォーター・トレーニング・ダイブの実施
- 7 スタート・ダイビング
- 8 一般規準と手続き
- 9 リスクマネジメント
- 10 ダイビングのマーケティング
- 11 キープダイビング
- 12 PADI DM コース
- 13 PADI OWD コース
- 14 PADI AOW コース
- 15 PADI RED コース
- 16 PADI SP を教える

II

知識開発講習プレゼンテーション

OWD～DMの各コースの学科を教えるときのシュミレーションをします。

3回以上のプレゼンテーション

★IDC → 3回以上の知識開発プレゼンテーション

★AI → 1回以上の知識開発プレゼンテーション

★OWSI → 2回以上の知識開発プレゼンテーション

どのコースも、1回は**3.5点以上**の評価を得ることが目標です！

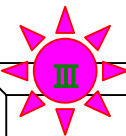
処方的に相手に伝えます。

PADI インストラクターとして様々な場面で使われる
焦点を絞った教育的トレーニング方法。

お客様がどんな情報を必要としているかを見極め、
その情報だけを伝えていきます。お客様は自習を
してきています。自習済みで分かっていることを
再度話されると、聞きたくなくなるというのが心情…。
聞き逃しを防ぐためには、必要な情報だけを**実際潜水環境を踏まえて伝える**
のがBEST！

評価基準は…

カリキュラムの中で組み立て方などの説明もします。
デモンストレーションもDVDでお見せします。通常の
会話でも役立ちます。



III 水域スキルとプレゼンテーション

プレゼンテーションでは、水域講習を実際に開催するときのシュミレーションをします。お客様役のコントロールにも十分気を配ります。

他に、DMコースで開発したスキルをもう一度“デモンストレーションレベル(DQS)”で磨きます。しっかり自信をつけて！

① 4回以上のC/W講習プレゼンテーション

- ★ IDC → 4回以上のC/W講習プレゼンテーション
 - ★ AI → 2回以上のC/W講習プレゼンテーション
 - ★ OWS I → 2回以上のC/W講習プレゼンテーション
- どのコースも、1回は**3.4点以上**の評価を得ることが目標！

~C/W 6つの流れ~

- ① ブリーフィング
- ② デモンストレーション
- ③ コントロールと編成
- ④ お客様による練習
- ⑤ 問題点の解決
- ⑥ ディブブリーフィング

② 2回以上の、2スキル組み合わせO/W講習プレゼンテーション

- ★ IDC → 2回以上のO/W講習プレゼンテーション
 - ★ AI → 1回以上のO/W講習プレゼンテーション
 - ★ OWS I → 1回以上のO/W講習プレゼンテーション
- どのコースも、1回は**各スキルで3.4点以上**の評価を得ることが目標！

O/Wでは、的確なブリーフィング、アシスタントを使ったコントロールが重要。それらを中心に掛けてください。

③ 20種類のダイブスキル ★ IDC & AI & OWS I すべてのコースで行います。

各スキル3.0点以上で合計得点68点以上の評価を得ることが目標！

④ 800Mスノーケルスイム/AIDのDEEPワークショップ/レスキュースキル

スノーケルはタイムトライアルではないけれど、ノンストップで泳ぎきります。



IV エグザム

五科目と規準の2科目のクイズの開催です。

「規準」はインストラクターマニュアルのどこに掲載されてるかを探す。

「理論」はナレッジ・ワークブックとエンサイクロペディアで**自習あるのみ！**

- ★ IDC → インストラクター前評価エグザムの5つのセクションで
それぞれ75%以上を得点する
- ★ AI → アシスタント・インストラクター規準エグザムで**75%以上を得点し、間違えた問題は完全に理解するまで復習する**
- ★ OWS I → インストラクター・ダイビング理論エグザムの5つのセクションで**それぞれ75%以上を得点する**

…というわけで、IDCでは、指導者としての十分な力と資質を育てていきます。そのために、このコースの内容は非常に濃く充実したもので、目標レベルも高いものになっています。PADIインストラクターは、これらすべての課題をクリアしなくてはならないのです。これら課題を達成するために、そしてインストラクターとして自信を持って活動ができるように、IDCでは達成主義をベースとした柔軟なスケジュールを組んでいきます。

あなたが納得いくまで、自信をつけられるようになるまで 秋山がお世話します！

∞...∞...∞ 100%目指してIDCの準備を完璧に Pre IDC ∞...
∞...∞

ダイブマスターコースを短期で修了された方、またこのダイビング業界以外の方にお勧めのコースです。IDCは、実際のコース開催を想定してのカリキュラムですので、より現実化します。このPre IDCをIDC開催前に受講されて準備を完璧にして頂くことにより、本来IDCで覚えるべき内容をIDCで熟知できるようになるのです。そして、余裕を持ってIDCをご受講して頂きたいのです。このコースは知識開発と限定水域を2日間に分けIDCではカバーされない部分を補います。日割りでも開催可能です。

プレ IDC	I カリキュラム & II 知識開発プレゼンテーション	III 限定水域スキル
第1日 目 / () :	1 コースオリエンテーション	1 20スキル デモンストレーション DQSレベルが必要です。 2 レスキュー評価 練習事項NO.7を練習し、DQSレベル を目指します。 ※ スキル評価では浮力関係のスキルが弱い 方が多いようですので、それも踏まえて 強化します。
第2日 目 / () :	1 物理、生理、RDP、器材、スキルと環境 確認及び練習問題 2 規準エグザム 確認及び練習問題 3 eRDP ML、ダイブテーブル補習 (OP) 4 PADI最新規準確認 (必要時)	

※海況により日程が前後する場合がありますがご了承頂けるようお願い申し上げます。
また、当日のスケジュールに関しましては、担当コースディレクター秋山の判断により、若干異なります。